神戸新聞 2015年05月29日 金曜日 面名 東播W １４ 22ページ

神戸市西区の特産品キャベツの生産者有志が、通常の２～３倍という巨大キャベツの栽培に取り組んでいる。総菜やサラダなどに加工される業務用の大玉で、2014年度は前年の倍にあたる約800トンが出荷され、15年度も増産を目指す。高齢者を中心に離農が進む中、巨大キャベツで産地復活を狙う。

（阿部江利）

神戸・西区の農家17個人・団体

巨大キャベツ 特産品に育て

通常サイズの２～３倍／14年度は生産量倍増

業務用キャベツは、スーパーなどで見かけるキャベツと違い、バスケットボールほどの大きさまで育てる。最大で重さ4キロ、直径45センチ程度になる。一般向けは大きくても1・5キロほどで、重さは倍近くになるが、味は変わらないという。同区では冬から春先に収穫され、大手飲食店チェーンにも出荷される。

農家が試験栽培した巨大キャベツ（西区役所提供）

作るのは、JA兵庫六甲神戸西業務用キャベツ部会の17個人・団体。輸入野菜が増える中、国産のシェア回復を目指すために国が用意した加工・業務用野菜への補助金を活用した。産地間競争があるので、品種は秘密。一玉一玉を大きく育てることで面積当たりの収量を増やし、価格競争力を付ける。収穫は重労働だが、出荷は業務用のコンテナを使うので一般向けより楽になるという。

営農組合で巨大キャベツを育てる西区神出町の萩原秋男さん(68)は「大きく育てるこつは水加減。収穫は、いつもと違った喜びがある」。同JAの日置豊さん(42)は「生産者が全国的に増加し、買い手市場。将来性は未知数だが、西区のキャベツ産地を盛り上げる起爆剤にしたい」と意気込む。

大きく育った神戸市西区の巨大キャベツ畑（JA兵庫六甲提供）

(C)神戸新聞社 無断転載 複製および頒布は禁止します。

名前【　　】

① この業務用キャベツは、どれくらいの大きさになりますか？

重さ（　　）　直径（　　）

② 巨大キャベツの栽培に取り組むようになったのはなぜでしょう。24字内で書きなさい。

③ 大きく育てるこつは、何ですか？

（　　）

④ この記事を読んだ感想を書きましょう。

NIEワークシート／小学校低学年～高学年／社会、国語